

下水管の維持管理にロボットが活躍 設計からアフターサービスまでの一貫体制

1950年に自動車販売業として石川県小松市で創業し、70周年を迎える。現在は、建設機械・産業機械部品のほか航空エンジン部品の一貫製造、特殊車輛・下水道維持管理製品を扱う。自社製下水道維持管理ロボットを商品化し、ドイツ製下水道ロボットの輸入・販売も開始する。自社商品スーパーミニモグプラスは、2019年にグッドデザイン賞を受賞。2018年にJISQ9100の認証取得を行い航空機エンジン部品製造への参入を果たした。

●所在地 石川県小松市長田町イ18

●電話/FAX 0761-21-3311/0761-21-9800

●URL <https://www.kabu-hokuryo.com/about/>

●代表者 代表取締役社長 谷口 直樹

●設立 1957年

●資本金 4,101万円

●従業員数 120名



狭い下水管の維持管理をデザイン性にも優れたロボットで実現

下水道維持管理ロボット、穿孔機（下水道管内の異物除去や更生工事後のライニング材の穴あけで使用）は、人が中に入って作業ができない口径600mm以下の下水道管において、異物や木の根の除去を行う。管内の流動空間を確保するとともに、さらなる下水管の損傷を防ぐことができる。下水道管メンテナンスロボットの研究開発は、2017年度いしかわ企業研究者表彰事業表彰を受け、研究開発に積極的な姿勢と、壊れにくい設計技術力が高い評価を受け、2019年度「グッドデザイン賞」を受賞している。



下水道本管用穿孔ロボット

自社独自の一貫システムによる高いクオリティの実現

設計→製造→検査→アフターサービスをワンストップで行う「一貫システム」にこだわり、お客様ニーズに答えている。世界的な成長産業である航空機産業において、航空エンジンの難削素材加工及び精密部品加工ニーズが高まっている。技術的にも性能的にも高いクオリティを求められるため、工法設計・加工・品質検査の「一貫システム」で取組み、業界のニーズに答えている。今後の業界拡大に合わせ、積極的な設備投資を行い生産能力拡大、技術革新を図ることで業界の成長にも寄与している。



自社独自の一貫システム

マレーシアの下水道課題を解決すべく、進出を準備中

JICAの案件化調査を実施し、マレーシアの現地調査及び下水道維持管理団体への自社商品の販促や紹介活動を実施している。現地サプライヤーとの代理店契約を締結し、海外市場へのビジネス展開に積極的に取り組んでいる。マレーシアの下水道課題をモデルケースに、他国への展開も検討している。海外の企業訪問や展示会の視察、出展にも積極的で、エアショー2020in SingaporeとFunboroughでは、海外企業との商談会に参加し、プレゼンを行う予定としている。



マレーシアでの現地調査